

第1学期を終えます

～長い夏休みが始まります～

コロナ禍の中で、オリンピック、パラリンピックが開催されます。

安心安全な開催に向けてさまざまな対策が講じられ、それぞれの立場からの考えや思いなども報道されています。安心安全な環境を保ち、すべての国のトップアスリートが集い、全力を出し切って競技し、たくさんの感動を味わう平和の祭典が無事に行われるとともに、スポーツのすばらしさが全世界の人々に伝わる大会となることを願っているところです。

一方、梅雨時期の集中豪雨により土砂災害が発生し命を奪われた地域がありました。これから気温が上昇する夏になり、台風等の発生による災害、熱中症も心配されます。生徒たちには、この長い夏休みを、警戒を緩めることなく、健康面に留意して規則正しく生活し、2学期に元気な姿で会えることを強く願っています。

さて、本日をもって第1学期を終業しました。今学期の終業式までは、全校生徒が体育館に一堂に集まることは避けてきました。市中総体に伴う選手推戴式、大会当日の一般応援、生徒総会（代議員会）をオンラインで実施したり、校内放送を活用したり、私たち教職員の諸会議も同様に行ったりするなど、リアル対面型による実施ができない状況にあり、常に創意工夫することが求められました。

今後のコロナ感染の状況にもよりますが、第2学期の始業式からは通常の教育活動を展開したいと考えているところです。修学旅行、市中総体駅伝大会、淵フェス等の学校行事、また授業参観等の開催についても再開し、生徒の様子を見ていただけるよう計画したいと考えているところです。

終業式では、今学期の学習面と生活面から振り返りを放送で行いました。

学習面では、次の5点について再確認させていただきました。

- ① めあてを意識して授業に取り組んでいますか？
- ② 家庭学習に、めあてを立てて取り組んでいますか？
- ③ その日の家庭学習で、めあてが達成できたかを振り返っていますか？
- ④ 振り返りを行い、自分なりの学習方法を見直そうとしていますか？
- ⑤ 家庭学習を通して、あなたの学力は向上しましたか？

今、まさに「主体的に学習に取り組む態度」が求められています。

「主体的に学習に取り組む態度」とは、自分自身の本来持っている能力などを発揮しようとしたり、新たな力を身に付けようとしたりする態度・姿勢と考えます。そのためには、自分自身をさらに高めようとする目標を持つことが必要です。自分の学習課題に照らして目標・めあてを設定し、計画を立てて粘り強く実行すること、そして課題解決のために方法等を修正したり調整したりすることが必要です。創意工夫すること、人と会話すること、また、さらなる誠実な努力が必要です。

目標をもって実行すること、そして振り返りと修正をすること、そのようなプロセスの中で学習する成果と喜びを味わってほしいものです。学びに向かう力を高め、何を理解し何ができるかという知識・技能、そして理解していること・できることをどう使うかという思考力・判断力・表現力等を培いたいと思っています。

次に生活面については、

生徒総会において、生徒会から「相手の思いを感じ、活気ある学校をつくろう」という言葉が提案されました。

相手の思いを感じるためには、相手意識に立つことが求められます。相手が何を感じ、どうかかわり合えばよいのか？と考えることがよくあります。少なくとも、そこには、良い関係性を保とうとする気持ちが大切です。相手を不愉快に思わせないこと、相手を困らせないこと。思いやること。人が集まり集団を形成して生きるわけですから、一定のルールやマナーも必要です。それらを無視する言動や行動があれば、活気ある集団、学校はつくれません。

今学期の学校生活を振り返ると、自分自身や友人を傷つけたり、いじめたり、ものを隠したり、壊したり、決して許されない行為があったりと、不愉快なこと、心配されることがありました。活気ある学校づくりを目指すのであれば、互いに助け合い、励まし合い、支え合い、高め合うことをさらに意識してほしいものです。

このような中、生徒会役員が、「校歌をもっと大きな声で歌おう」、「昼休みに学級単位によるレクリエーションをしよう」など、校長室に来て話をしてくれました。コロナ禍の第1学期を終える中、とてもうれしく思っているところです。

「自ら学び 心身ともに しなやかでたくましい生徒の育成」

長崎市立淵中学校 校長 吉原 幹男

